

## 2003 年度（平成 15 年度）第 4 回理事会議事記録

日 時：2003 年 12 月 6 日（土）14:00～16:30

場 所：ホテル八重洲龍名館「桜の間」

出席者：廣川信隆（理事長）、河田光博、柴田洋三郎、高田邦昭、山科正平（以上常務理事）、井出吉信、大野伸一、木山博資、近藤尚武、正村静子、杉浦康夫、仙波恵美子、竹内義喜、武田正子、福本哲夫（以上理事）、上田秀一、内山安男、（以上監事）、小森雄一郎（学会事務センター）

欠席者：菅沼龍夫、高野吉郎（以上理事）、依藤宏（幹事）

（上記各項目五十音順）

### I. 理事長挨拶

ご多用中お集まり頂いたことを感謝したい。解剖学会では来年には国際解剖学会議開催を控え、その準備も井出組織委員長をはじめ、諸先生方の努力で着々と進んでいる。解剖学、形態学は日本がリーダーシップを発揮しなければならない分野であるので、成功に向けより一層の努力をしてゆきたい。また、一昨年創刊された Anatomical Science International も順調に刊行されており、学会が益々国際化を果たしていくなか、海外関連諸団体の実状を調査、明らかにした上で日本解剖学会としてどのような対応をとるべきか、検討を進める必要がある。

また、基礎医学をとりまく環境としては国立大学の法人化、国の研究費予算の動向など流動的である。併せて学会改組の問題等、予断を許さない状況であり、学会としても今後一層のはたらきかけが必要である。理事の諸先生方にも学会の発展に向け益々の努力をお願いしたい。

### II. 議事録署名人の選任

議事録署名人として武田正子、近藤尚武両理事が選任された。

### III. 前回会議記録の確認

- ・2002 年度（平成 14 年度）総会、学術評議員会記録（案）
- ・2003 年度（平成 15 年度）度総会/学術評議員会記録（案）
- ・2003 年度（平成 15 年度）第 2、3 回理事会記録（案）

### IV. 報告事項

#### 1. 庶務報告

##### ①第 108 回総会・全国学術集会事業報告

猪口哲夫会頭（久留米大学教授）より報告書が提出された。

##### ②第 19 期日本学術会議「解剖学研究連絡委員会」委員

8 名の委員が決定した旨、報告があった。

##### ③JST 学会抄録データベースについて

第 107 回全国学術集会抄録の JST データベース化に伴う変換は JST が実施することになり、その作業が終了、利用可能となったことが報告された。

##### ④平成 17 年度科研費審査委員候補者選出選挙について

標記選挙の実施要領が資料として提示され、確認された。

尚、平成 15 年度第 2 回理事会決議により、選出過程（方法）が昨年までとは以下の点で異なる。

- ・学術評議員による投票（推薦）は 1 回とする。
- ・投票（推薦）は全て記名投票とする。ただし、推薦理由の記載は不要とする。
- ・「推薦委員会」は、地域及び専門分野のバランス等を考慮の上、独自に 10 名程度の候補者を追加することができる。

## 2. 編集報告

### ①「ASI」及び「解剖学雑誌」刊行報告

刊行状況につき説明があり、両誌とも順調に出版されている旨、報告があった。

### ②平成 16 年度科研費（研究成果公開促進費）

例年通り、申請を行った旨、報告があった。

## 3. 企画・渉外報告

### ①第 16 回国際解剖学会議準備状況

日本学術会議との合同委員会、シンポジウムの準備状況、ニュースレターの発行計画等についての報告がなされた。

### ②日米解剖学会合同シンポジウム

2004 年 4 月米国で開催の“Experimental Biology 2004 Conference”における日米合同シンポジウム“Cardiac Pacemaking and Conduction System”のシンポジストとして、島田達生大分大学教授、西井清雅九州大学助手を、日本解剖学会の代表として派遣することが報告された。

### ③生物科学学会連合の提言

11 月 12 日（水）に開催された「第 10 回連絡会議」の席上で討議された「研究体制に関する提言」の最終案が提示された。本提言は、加盟 20 学会の総意として文部科学省に提出される予定である。

### ④2003 年度（平成 15 年度）一級技術士試験報告

解剖組織技術士資格審査委員会委員長 大野伸一山梨医大教授より、一級解剖技術士申請者 3 名、一級組織技術士申請者 1 名につき、試験を実施し、4 名ともに合格と認定した旨の報告があった。

### ⑤2003 年度（平成 15 年度）奨励賞について

11 月末日を締切として公募を行ったが、現在応募件数 2 件と、例年に比べ非常に少ない状況である。締切を 12 月 15 日まで延長することとなったので、理事各位よりご推薦を頂きたい。

## 4. 会計報告

### ①第 108 回総会・全国学術集会収支報告

猪口哲夫会頭（久留米大学教授）より報告書が提出された。

### ②2003 年度（平成 15 年度）日本解剖学会収支状況報告

収支に関し、特に大きな問題はない旨、報告があった。

### ③寄付及び賛助拡大キャンペーン報告

資料に基づき、現在までの状況が報告された。以後、益々のご協力をお願いした旨、併せて要請がなされた。

## 5. 第 19 回形態科学シンポジウム

仙波理事（第 19 回形態科学シンポジウム 世話人）より、資料に基づき標記シンポジウムの実施報告がなされた。

## V. 審議事項

### 1. 平成 17 年度科研費審査委員候補「推薦委員会」の設置

標記の件につき、11名の委員候補者が提案され、審議の上承認された。

### 2. 平成 16 年度事業計画

資料に基づき審議された結果承認され、総会／学術評議員会に諮ることとなった。

### 3. 平成 16 年度予算及び「国際解剖学会議 特別会計」の設置

資料に基づき審議された結果承認された。

また、平成 16 年度は「国際解剖学会議」開催の年にあたり、本会議の経理を明瞭にするため、一般会計とは別に「特別会計」を設置・管理することが承認され、併せて理事会に諮られることとなった。尚、本特別会計は平成 16 年度限りとし、残額は一般会計に繰り入れることとする。

### 4. 永年会員の推薦

平成 15 年度永年会員推薦候補者一覧が提示された。1名の定年年齢の確認を条件に、承認された。

### 5. 東北・北海道支部評議員会からの提言

東北・北海道支部の学術評議員会から①申請による学術評議員選考について、i) 審議基準の明確化と不認定の場合の推薦者への理由の通知 ii) 現評議員資格の見直しの必要性の有無、②解剖学教育者資格認定制度の制定の可否について、の要望・質問が寄せられた。審議の結果、① i) に対しては再度常務理事会で選考基準及び選考プロセスについて検討の上、次回理事会で再審議すること、① ii) 及び②については現状では実施がかなり困難である、との結論に達した。

### 6. 各種内規の制定

①弔慰に関する申し合わせ書

②(社)日本解剖学会における「解剖学振興基金」に関する規定

③(社)日本解剖学会における基本財産の運用益の使途に関する規定

上記 3 件の内規及び規定(案)が審議の上承認された。

### 7. 学術集会のあり方(学術委員会からの提言を受けて)

学術委員会より提言のあった標記事項について、理事会で検討の上、平成 16 年春頃までに学会としてのある程度の方向性を打ち出すことが出来るよう、審議を進めることが確認された。

### 8. 「解剖学用語」の出版

解剖学用語委員会で「解剖学用語集」出版の検討が行われていることが報告された。

学会の経済的負担他細部について用語委員会で引続き検討のうえ、次回理事会で再度審議することが確認された。

### 9. その他

①海外関連団体(IFAA, APICA)との関係

標記案件につき、理事会にて長・短期的な対応策をまとめていく必要があることが確認された。このための「諮問委員会」を設置し検討を進めることが承認された。

上記の 2003 年度（平成 15 年度）第 4 回理事会の議決及び確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2004 年 3 月 22 日

社団法人 日本解剖学会

議長 廣川 信隆



署名人 武田 正子



署名人 近藤 尚武

